

あくね 今月の莫祢ゴールド創世塾

8月27日にあくね園を訪れた。たくさんのお友達と一緒にご挨拶を交わすと元気な声が響き渡る。はじめは大型紙芝居『たべられたやまんば』から。お話が進み、やまんばから逃げる場面になると子ども達から声があがる。ハラハラドキドキの展開に興奮しているようだ。

2番目は『うみきりん』架空のお話であるが、「うみきりんを見た事のある人」と尋ねると意外と多くの手が挙がる。楽しそうに見た様子を伝えようとする様はとて微笑ましい。阿久根大島で見たという子どももいた。ページをめくることに反応があり、うみきりんの大きさやその特徴に驚いていた。

もうひとつの大型絵本は『おべんとうバス』。最初のページには、赤い大きなバスが登場する。どんな色が好きか尋ねると、赤・青・黄色・緑とそれぞれに同数程の人気があった。割とよく知られている本なので、「ブロッコリーさん」「トマトさん」「たまごやきさん」「おにぎりさん」など声掛けを子ども達に協力してもらいながら進めた。最後は歌遊び『つるつるそうめん』。先生の音頭でとても楽しく行い、あっという間にお時間となった。「また来てね」の言葉も沢山頂いた。



【莫祢ゴールド創世塾】図書館を拠点に活動している読み聞かせグループ。先人たちから郷土の歴史や文化を、今日まで継承してきた地域高齢者の豊富な知恵と経験が、輝く力、ゴールドであり、阿久根市の新しい未来を作り出す幼児・小中学生の創造する力が、金の卵、ゴールドです。この二つのゴールドを活かし、育て、輝かせるために、「阿久根語りべ」が読み聞かせを通して、幼稚園、小中学校、いきいきサロン、福祉施設等で地域や世代を越えた交流を実施中です。大変好評で、笑顔・元気・幸せをテーマに、その実力をいかに発揮しています。



あくねの
文化財

見て見て!

昭和32年、小学5年生の児童によって阿久根浜で発見された16世紀ごろのポルトガル砲です。当時の船舶に積まれていたものが何らかの事情で阿久根沖に投棄されたものと考えられており、阿久根と海外とのつながりを知る貴重な資料として県指定有形文化財となりました。九州国立博物館にも展示されたことがあるこの大砲は現在、風テラスに展示されています。



図書館だより

2019年9月号



表紙特集

親子で学ぼう！



防災特集



9月1日は防災の日。地震、津波、台風など災害はいつどこで起こるか分かりません。もしもの時、自分や家族を守るためにも正しい知識を身につけておかななくてはなりません。

コーナーには、一般書だけでなく子供でも分かりやすい防災についての絵本もご用意しました。この機会にぜひ、家族で防災について考えてみてはいかがでしょうか。



- ★“今”からできる！日常防災
(永田宏和／監修)
- ★もしもごはん(今泉マユ子／著)
- ★ペットと防災ハンドブック 犬・猫
(徳田竜之介／監修) など



令和元年 9月 1日 発行
阿久根市立図書館
阿久根市高松町2番地
TEL 72-0607



📷 8月図書館の様子

▶ 尾崎小(緑陰読書)



▶ 阿久根小(緑陰読書)
協本学童(緑陰読書) ◀



▶ 学童ガッツ(緑陰読書)
田代小(緑陰読書) ◀



阿久根市立図書館 9月行事予定表

※日程や内容が変更になる場合があります。

- 3日(火)バンビ号(大川小)・大川学童
- 4日(水)バンビ号(山下小)・山下学童・尾崎小・尾崎学童
- 5日(木)バンビ号(折多小)
- 6日(金)バンビ号(協本小)
- 7日(土)バンビ教室
- 10日(火)バンビ号(鶴川内小)・田代小・阿久根小
- 11日(水)バンビ号(西目小)
- 12日(木)～25日(水)館内整理期間
- 13日(金)ブックスタート
- 20日(金)子育て支援
- 28日(土)映画会

バンビ教室

9月7日(土)PM2:00～

大型絵本・紙芝居などの読み聞かせを実施。季節ならではのお話がいっぱい!



休館日 2日(月)9日(月)12日(木)～25日(水)※館内整理期間含む
30日(月)



映画会

9月28日(土)PM2:00～

【おしりたんてい
ププッ ブラウンものがたり】

～あらずじ～

ブラウンが言葉を話せるようになったのはある事件がきっかけだった…。ブラウンとおしりたんていの絆の物語が今、明かされる。



市立図書館2階, 研修室にて, 無料です。幼児から可。
(内容が変更になる場合があります)



一般書

『伊勢佐木町探偵ブルーズ ISEZAKICHO DETECTIVE BLUES』

(東川 篤哉/著 祥伝社)

伊勢佐木町に事務所を構える私立探偵・桂木圭一がある日、知らぬ間に再婚していた母親を訪ねると、お相手は神奈川県警本部長だった。しかもその息子は 伊勢佐木署のエリート刑事で...



『虹にすわる』(瀧羽 麻子/著 幻冬舎)

職人気質の先輩と芸術家肌の後輩。性格も能力も正反対のアラサー男子が、学生時代の約束のもと、小さな椅子工房を始める。不器用なふたりは、友情でも恋でも仕事でもギクシャクし...

<文芸・エッセイ>

- 流星のソード (柄刀 一)
- 森があふれる (彩瀬 まる)
- 電気じかけのクジラは歌う (逸木 裕)
- Rのつく月には気をつけよう 2
- 無実の君が裁かれる理由 (友井 羊)
- 賢者のグラス (石持 浅海)



児童書

『人形の家に住んでいたネズミ一家のおるすばん』

(マイケル・ポンド/文 エミリー・サットン/絵 徳間書店)

伯爵の大きなお屋敷の中にある人形の家には、ネズミの一家が暮らしていました。ある日、伯爵が旅行に出かけると、留守をあずかった秘書がなにやら悪だくみを始め...



『じゃない!』

(チョー ヒカル/作 フレーベル館)

きゅうりだと思ったら、中身はバナナ。みかんだと思ったら、中身はトマト。固定観念をくつがえす、奇想天外なたべものの数々...



<絵本・物語>

- しゅくだいかけっこ (福田 岩緒/作・絵)
- カルメラのねがい (マット・デ・ラ・ペーニャ/作)
- コリンのお店びらき (ひこ・田中/文 山西 ゲンイチ/絵)
- かわにくまがおっこちた (リチャード・T.モリス/著)

